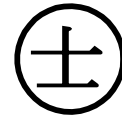


採点番号（事務局記入）

2019 年度 建築基礎設計士 一次試験

実技問題（2020.1.19 実施）

受験番号	
フリガナ	
氏名	

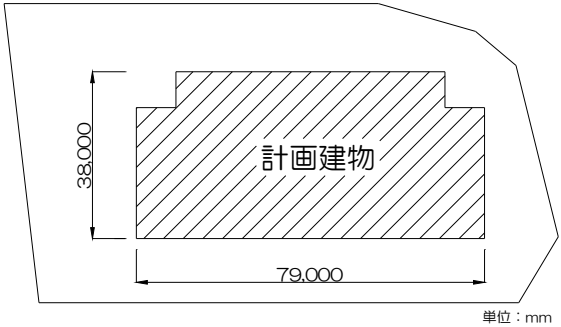


（2 ページ以降には、氏名等を書かないこと）

A：基礎構造の設計計算問題（計算過程も明記すること）

採点番号（事務局記入）

1. 図-1 に示す敷地に鉄骨造地上 20 階、地下 2 階、塔屋 1 階建て、軒高約 125m の制振構造の事務所ビルを新しく建てる計画がある。敷地は十分に広く、施工機械の搬入についても問題ない条件として、図-2 に示す近隣のボーリング資料を参考に、基礎の設計に必要な地盤調査計画を行いなさい。下記の計画内容を参考に、本敷地地盤で基礎を設計および施工するにあたり、懸念される事項を制振構造の設計に必要な調査内容を少なくとも 1 つを含め、3 つ以上列記しなさい。また、その検討に必要な調査項目と調査結果から得られる情報を一覧表で答えなさい。



(配点： 12 点)

図-1 敷地および校舎の配置計画図

懸念される事項	調査方法	調査計画	得られる地盤情報
◎◎の恐れ	○○○○試験	△か所以上で実施。 深度□m～◇m での層 で実施。	●●●値

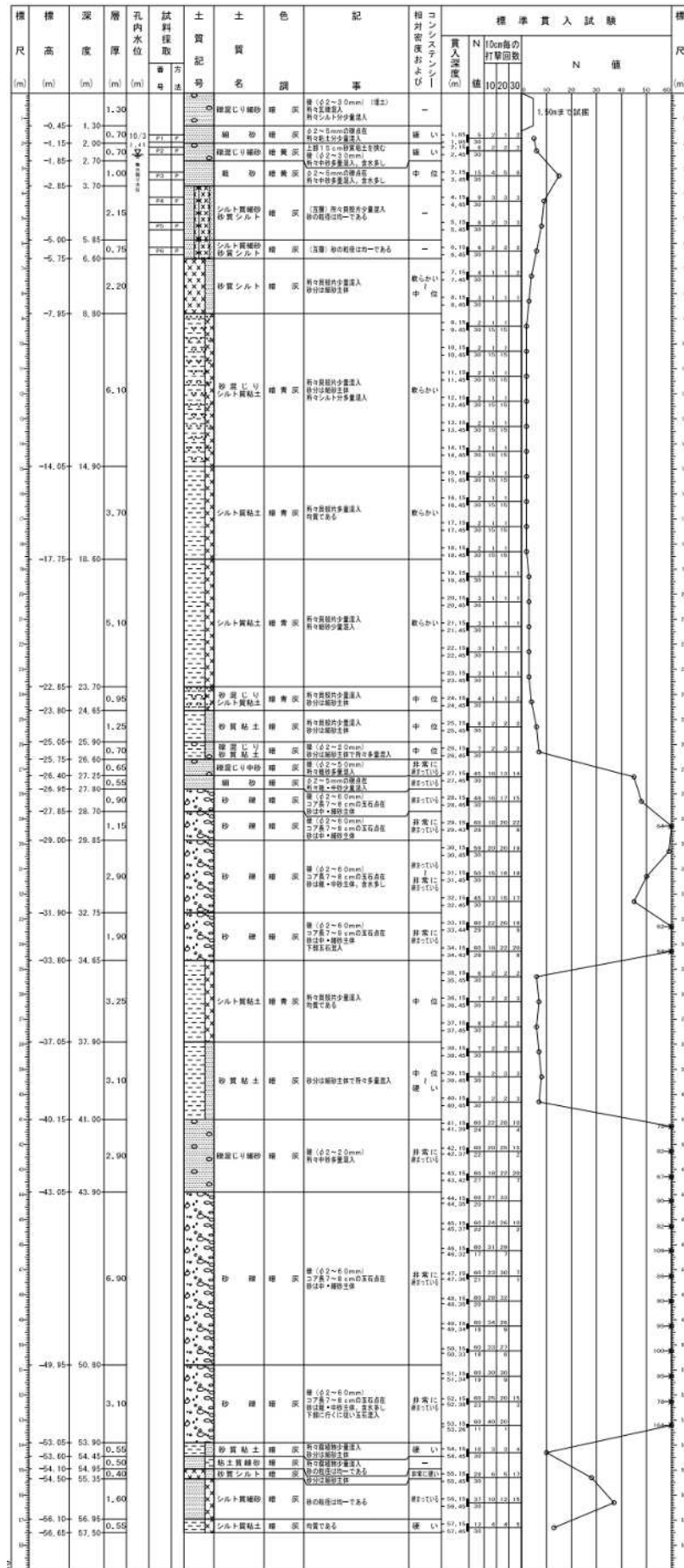


図-2 近隣ボーリング (図-1の敷地より約 200m 離れた地点)

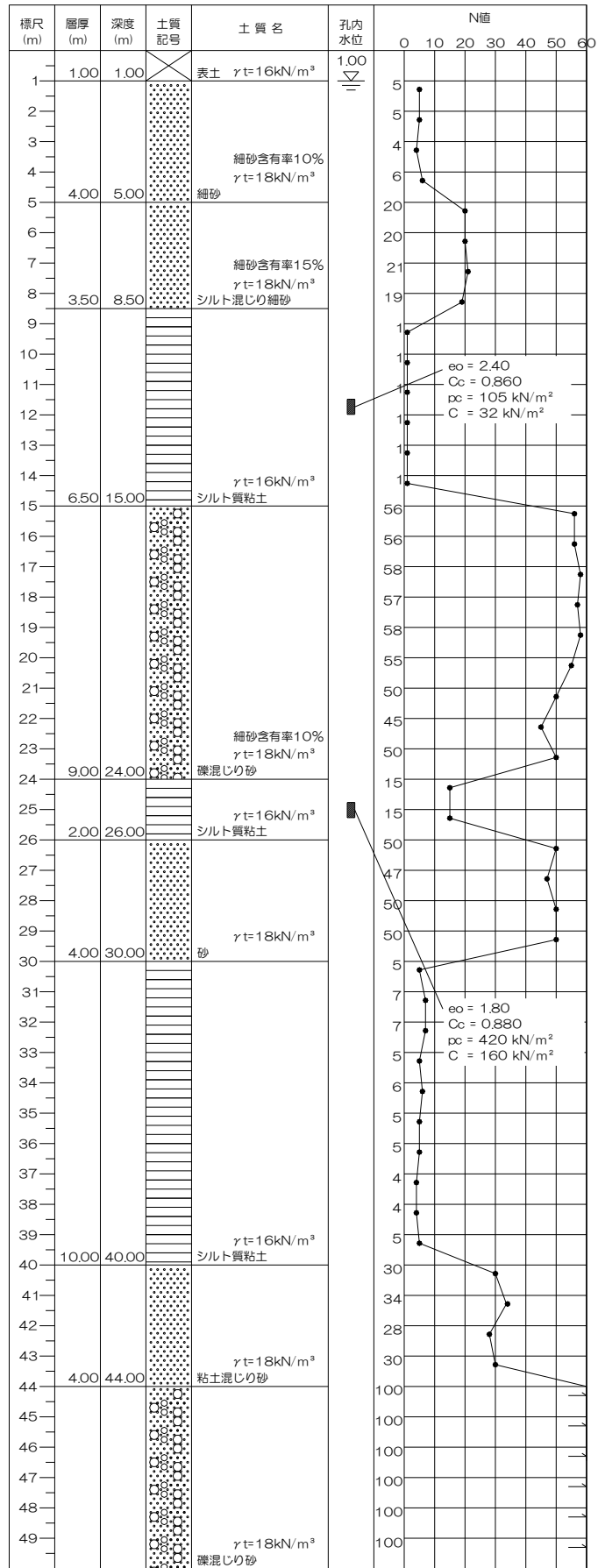
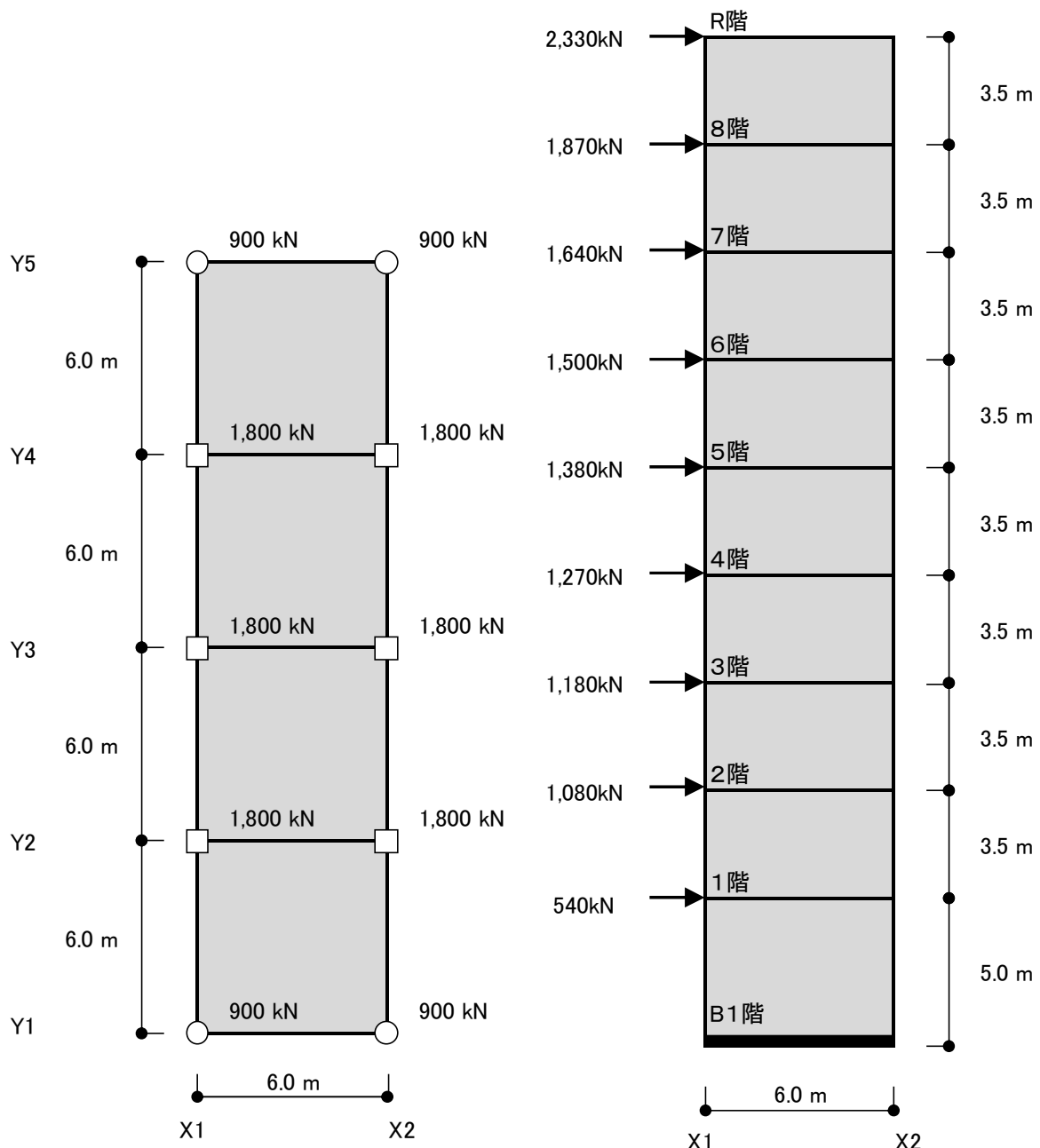


図-3 ボーリング柱状図



※数値は、基礎設計用の長期軸力を示す

※[→○○○]の数値は、各階の地震時水平力を示す

(a) 平面

(b) 立面

図-4 基礎設計用長期軸力、地震時水平力

